

# 専門分野Ⅱ 臨地実習

16 単位 (720 時間)

<ねらい>

- 人が生まれること、産むこと、健やかに育むことを支援するための基礎能力を養う。
- 人間のもつ機能と能力の障害・喪失により生じる様々な影響を理解し、その人がその人らしく生活するための日常生活の援助を実践する。
- 各発達段階において多様な健康課題を有する対象に、科学的根拠に基づき看護実践ができる基礎的能力を養う。
- 人生の終焉にあるひとと取り巻く対象へ対する看護を学ぶ。
- 対象に共感しながら寄り添う姿勢を養う。
- 看護の専門職業人として、総合保健医療における看護の役割を認識し、その役割を果たす能力を養う。
- 自己の看護観を深める。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	2	90
	成人看護学実習Ⅱ	2	90
	成人看護学実習Ⅲ	2	90
老年看護学	老年看護学実習Ⅰ	2	90
	老年看護学実習Ⅱ	2	90
小児看護学	小児看護学実習	2	90
母性看護学	母性看護学実習	2	90
精神看護学	精神看護学実習	2	90
合計		16	720

## 成人看護学実習（6単位 270時間）

### 【目的】

成人期にある対象を総合的に理解し、個人および家族に対して健康生活を促すための看護を実践できる基本的知識、技術、態度を習得する。

さらに、実習場面での人間のかかわりを通して、自己の成長を促す。

### 【目標】

1. 身体のさまざまな機能障害をもたらす日常生活の制限に対する看護を実践する。
2. 人生の終焉を支える看護を理解する。
3. 保健医療福祉チームメンバーの連携と看護の役割を理解する。
4. 他者とのかかわりを通し、自己と他者への気づきを深めるとともに、自己の看護観を育む。

### 【構成】

成人看護学実習	成人看護学実習Ⅰ	機能障害に応じた健康生活を促す看護 人生の終焉にある対象への看護	2単位
	成人看護学実習Ⅱ		2単位
	成人看護学実習Ⅲ		2単位

### 成人看護学実習ⅠⅡ

【目的】 発達段階の特徴を捉え、機能障害に応じた健康生活を促す看護を実践する。

### 【目標】

1. 機能障害が及ぼす影響について明らかにする。
2. 看護介入の視点を明らかにする。
3. 個別性を捉えた看護実践を行う。
4. 看護実践の評価・修正を行う。
5. 看護学生としてふさわしい態度をとる。

### 成人看護学実習Ⅲ

【目的】 経過に応じて症状や治療・処置を関連付け、退院後の生活をふまえた継続看護を実践することができる。

### 【目標】

1. 機能障害が及ぼす影響について明らかにする。
2. 退院後の生活を見据えたアセスメントを行う。
3. 退院後の生活を見据えて必要な援助を実践する。
4. 医療、福祉チームにおける看護師の役割を理解する。
5. 実践した看護のプロセスをまとめて評価・修正する。
6. 看護学生としてふさわしい態度をとる。

## 老年看護学実習（4単位 180時間）

### 【目的】

老年期にある対象を理解し、すでに習得した老年看護学の諸理論、知識、技術、態度に基づいた看護実践の基礎的能力を養う。

### 【目標】

1. 老年期にある対象の特徴を総合的に理解し、状態に応じた看護援助を実施する。
2. 老年期にある対象の看護問題を把握し、個々に応じた看護実践方法を学ぶ。
3. 対象の残存機能を活用し、生活自立のために必要な看護援助を提供する。
4. 保健医療福祉の連携の重要性について考える。
5. 対象の生活史を理解し、その人らしさを尊重した行動がとれる。

### 【構成】

老年看護学実習	老年看護学実習Ⅰ	高齢者への日常生活支援	2単位
	老年看護学実習Ⅱ	健康障害をもつ高齢者の看護	2単位

### 老年看護学実習Ⅰ（高齢者への日常生活支援）

#### 【目的】

老年期にある対象の特徴をとらえた自立支援に必要な看護の基礎知識、技術、態度を習得する。

#### 【目標】

1. 高齢者の身体的・心理的・社会的変化を理解し、対象を総合的にとらえる。
2. 対象の自立支援の必要性を理解し、対象に応じた日常生活を援助する。
3. 高齢者を尊重し、老いについて考えを深める。
4. 高齢者の社会的支援について理解を深める。

### 老年看護学実習Ⅱ（健康障害をもつ高齢者への看護）

#### 【目的】

老年期にある対象の健康障害を把握し、対象に応じた看護を実践する。

#### 【目標】

1. 健康障害のある対象の全体像を明らかにする。
2. 対象の健康障害のレベルに応じた看護を実践する。
3. 看護実践の評価・修正をする。
4. 対象を尊重した態度で関わる。

## 小児看護学実習(2単位 90時間)

### 【目的】

小児期の特徴を理解し、健康児と健康を障害された小児および家族に対する看護実践能力を養う。

### 【目標】

1. 小児各期の成長発達を理解し、発達段階に応じた日常生活の基本的援助を行う。
2. 疾病および障害が小児とその家族に及ぼす影響を理解する。
3. 小児と家族の健康問題を明確にし、解決に向けての援助を実施する。
4. 小児を取り巻く保健医療チームの役割について理解を深める。
5. 小児の安全管理における看護師の責任を自覚し、防止対策に努める。
6. 子どもと子どもの健やかな育成への関心を深める。

### 【構成】

小児看護学実習	地域で生活している小児への日常生活支援	2単位
	健康障害をもつ小児とその家族への看護	

#### 地域で生活している小児への日常生活支援

### 【目的】

地域で生活する小児の成長・発達をふまえ、日常生活行動の獲得及び自立に向けた援助を学ぶ。

### 【目標】

1. 小児を取り巻く環境と保健・医療・福祉の役割について理解を深める。
2. 小児各期の成長発達過程を理解し、発達段階に応じた日常生活の基本的援助を理解する。
3. 子どもと子どもの健やかな育成への関心を深める。

#### 健康障害をもつ小児とその家族への看護

### 【目的】

小児期の健康障害の特徴とその影響を理解し、入院している患児とその家族に応じた看護を実践する。

### 【目標】

1. 小児の安全管理における看護師の責任を自覚する。
2. 受け持ち患児の成長・発達段階、基本的日常生活を理解する。
3. 健康障害が小児とその家族に及ぼす影響を理解する。
4. 小児とその家族の健康課題を明確にし、看護援助を実施する。
5. 子どもと子どもの健やかな育成への関心を深める。

## 母性看護学実習（2単位 90時間）

### 【目的】

妊娠・分娩・産褥期における母性および新生児の身体的・心理的な特徴を理解するとともに、母性看護の基本的な実践能力を養う。

### 【目標】

1. 妊娠・分娩・産褥各期の経過を理解し、必要な援助ができる。
2. 新生児の生理的特性を理解し、必要な援助ができる。
3. 母性意識、母と子の絆、家族について理解を深める。
4. 周産期における看護職の役割について理解を深める。
5. 母子とその家族への援助、周産期医療チームとの関わりを通して自己の母性看護観を深める。

### 【構成】

母性看護学実習	妊婦の看護	2単位
	産婦の看護	
	褥婦・新生児の看護	
	ライフサイクル各期にある母性の看護	

#### 妊婦の看護

【目的】 妊婦のセルフケア維持促進にむけた看護の基本的能力を養う。

- 【目標】
1. 妊婦の情報を得るために必要な技術が実施できる。
  2. 妊婦、胎児の健康状態をアセスメントできる。
  3. 健康診査、保健指導の実際を学び、その必要性を考察する。

#### 産婦の看護

【目的】 分娩経過に沿った産婦の看護の基本的実践能力を養う。

- 【目標】
1. 分娩室の環境を理解する。
  2. 産婦の看護の実際を知る。
  3. 分娩直後の新生児の看護の実際を知る。
  4. 分娩時の事故防止について考える。

#### 褥婦・新生児の看護

【目的】 褥婦および新生児の看護の基本的実践能力を養う。

- 【目標】
1. 褥婦および新生児の看護の実際を知る。
  2. 母と子の絆、新しい家族関係構築に向けての看護実際を知る。
  3. 母子における社会資源の活用について考える。
  4. ハイリスクにある母子の看護の実際を知る。

#### ライフサイクル各期にある母性の看護

【目的】 ライフサイクル各期における母性の健康増進のための看護の役割を考える。

## 精神看護学実習（2単位 90時間）

### 【目的】

精神障害のある対象を理解し、精神が障害された人の看護に必要な基礎知識・技術・態度を学び、看護の役割と方法を学習する。

### 【目標】

1. 精神に障害のある対象を理解し、対象に応じたセルフケア援助を実践する。
2. 対象の治療的環境とそれに伴う看護の役割が理解する。
3. 対象との関わりを通して、自己洞察をする。
4. 精神障害者のための社会復帰活動を知り社会復帰に向けての看護の役割について考える。

### 【構成】

精神看護学実習	地域で生活している精神に障がいのある対象の看護	2単位
	精神科病棟に入院している対象の看護	

### 地域で生活している精神に障害のある対象の看護

【目的】 地域で生活している精神に障害のある対象の看護を学ぶ。

- 【目標】
1. 施設の機能・役割について学ぶ。
  2. 地域で生活する人の施設での状況を知る。
  3. 社会復帰に向けた活動を知り、看護の役割を知る。
  4. 地域精神医療の現状について学ぶ。

### 精神科病棟に入院している対象の看護

【目的】 精神科病棟に入院している対象の看護を実践する。

- 【目標】
1. 精神科病棟の機能と役割を理解し、その病棟の特徴や看護師の役割を知る。
  2. 対象の精神障害の程度、段階、精神症状が分かる。
  3. 対象が受けている治療の目的、内容およびその効果が分かる。
  4. 対象の日常生活行動を観察し、必要な援助が分かり指導者の助言のもとに実践する。
  5. 対象と自己の相互関係を理解し受容的にかかわる。
  6. 対象との関わりを振り返り、その中で感じたことを表現し自己の傾向を知る。